

令和3年度自己評価報告

運営・管理・社会的責任	
① 保育所の保育理念及び基本方針について、	新年度の全職員保護者対象の重要事項説明にて確認し、年間通して各所に掲示することで、全体への周知を図ることができた。
② 保育の質の向上や改善のための取り組みについて、	園内研修や外部研修・自主研修を全職員について可能な範囲で受講するようにし、受講者の報告により他の者も学んだり保育内容を検討したりできた。 普段の保育についても日常話題にするようにした。
③ 行事について、	子ども第一に考え、感染対策に伴う縮小も併せ、無理なく楽しめるようにした。また、行事後保護者にアンケートを取るなどして検討改善に努めた。
④ 守秘義務の遵守について、	就業規則・マニュアルを年度初めに読み合わせし、おおむね守られた。
⑤ 子どもの安全、健康に対応できるマニュアル（感染症、給食衛生管理、危機管理、不審者対応、食中毒発生時等）について、	毎月の職員会での項目ごとの確認に加え、問題発生時にはキッズリー・掲示・緊急職員会などにより、全職員での周知を図ることができた。
⑥ 事故防止のための具体的な取り組み（遊具の安全点検、環境整備等）について、	点検を定期的に行い、毎月のヒヤリハット報告・検討会をもとに環境整備に努めた。
⑦ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、	定期的に全職員でマニュアル確認し、発見・対応できるよう努めている。子ども支援課には毎月情報提供を行い連携が取れた。
⑧ 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援について、	感染拡大に伴い例年のような多くの受け入れは難しかったが、主に入所希望者を園開放「らっこくらぶ」にて受け入れ、最小限ではあるが対応した。
⑨ 小学校との連携（学校訪問、保育要録の提出等）について、	年長児と1年生との直接の交流はできなかったが、年度末にお手紙交流ができよかった。職員間の情報伝達は随時行った。幼保小中のネットワーク会議でも情報交換できる関係を保っている。
⑩ 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携について、	園の行事・地域の行事への参加交流等できなかったが、園からの毎月のお知らせは行った。